

一 般 質 問

6月5日(木)

(令和7年6月定例会)

発言順 通告時間	議員名	質 問 事 項	答弁を 求める者
① 60 分	田福 光規 9:00~10:00	1. 町の堆肥から有機フッ素化合物（PFAS）を検出、その後の対応 (1) 水道水の国の PFAS の暫定基準の数値は (2) 当町の水道水の PFAS 検査の結果は (3) PFAS による健康被害の事例、また、考えられる健康被害 (4) 当町の堆肥分析の結果と、それに対する町の対応と考え方 (5) PFAS に汚染された堆肥の配布の中止を 2. 移住・定住対策と『空き家バンク』の取り組みの現状と課題 (1) 「空き家バンク」の登録数を増やす取り組み (2) 空き家の所有者も、補助金支給対象者に加えるよう「補助金交付要綱」の見直しを (3) 移住者の皆さんの集まりを開いて、移住者の声を聴く場の設定を (4) 移住・定住、空き家対策に民間の活力を得る取り組みを 3. 異常な物価高騰のもと、町民のいのちとくらしを守るための取り組み (1) 特に高齢単身者、高齢者世帯、子育て世帯の生活実態把握を (2) 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）、クールシェアスポットの設置を (3) 町の単独事業として、町民への支援事業の実施を	町 長
休 憩 (10 分)			

② 60 分	原田 恵召 10:10～11:10	1. 南海トラフ地震の影響はどの程度なのか (1) 最大震度 5 強との予想があるが町へ影響は 2. ハラスメント条例を制定したらどうか (1) パワハラだけでなくカスハラ、セクハラなどに対応した条例を 3. いきいき券の追加配布はどうなっているのか (1) 一世帯 8, 0 0 0 円のいきいき券配布はなぜ遅れているのか 4. 配食サービスの現状と課題は (1) 高齢者向け弁当の配達の現状を問う	町 長 教育長
休 憩 (10 分)			
③ 60 分	荻野 友一 11:20～12:20	1. 長和町地球温暖化対策実行計画について (1) 太陽光発電設備等の導入について (2) J-クレジットの創出について 2. 長和町の観光業の育成について (1) ブランシュたかやまスキー場の運営について (2) 黒耀石ミュージアムについて (3) 中山道について 3. 長和町デマンド交通について (1) 長和町デマンド交通の実証運行の結果について (2) ライドシェアの取り組みについて	町 長 教育長
昼 食 (60 分)			

④ 60 分	渡辺 久人 13:20～14:20	1. 長和町公共施設の管理運営について (1) 今年度の改定の趣旨と内容は (2) 施設の集約、廃止、譲渡を計画的に 2. 公共施設の使用料金について (1) 使用料、減免基準の検証は行ったか 3. ふるさと納税について (1) ふるさと納税特別任務室設置の意味は (2) 寄付の見込額は	町 長
休 憩 (10 分)			
⑤ 60 分	阿部 由紀子 14:30～15:30	1. 町民の気づきを活かす情報システムの導入 (1) 倒木、道路の不具合、公園遊具の破損や動物の死骸等、これまでの通報状況（通報の手段） (2) 町民の気づきをスマホから通報できるシステムの導入 (3) GIS の活用と N ナビとの連携で素早い対応を 2. 未来の有権者と共に考える選挙環境 (1) 年代別投票データと投票率を上げるには (2) 地域店舗との連携で選挙と地域経済をつなぐ (3) 選挙への子供同伴推奨とその周知について 3. 男女共同参画、政策への反映について (1) これまでの活動と進捗状況 (2) 町民へのアンケートからの見解は？ (3) 結果をどう生かす？今後の施策の予定について	町 長

一 般 質 問

6月6日(金)

(令和7年6月定例会)

発言順 通告時間	議員名	質 問 事 項	答弁を 求める者
⑥ 40 分	羽田 公夫 13:30~14:10	1. ブランシュたかやまスキー場のスノーボード解禁について (1) スキー場の新たな挑戦について (2) スキーヤーとボーダーの距離感について (3) 25~26の来シーズンに向けて 2. 選挙制度の見直しで町の活性化を (1) 投票所の設置環境について (2) 若者へ投票の呼びかけについて (3) 出前投票所の設置について (4) 町の活性化に向けて	町 長
休 憩 (10 分)			
⑦ 60 分	佐藤 恵一 14:20~15:20	1. 住宅地内における野建て太陽光設置について (1) 町の対応は適切であったか (2) 住民説明会に行政職員の出席は可能か (3) ガイドライン、要綱等の見直しが必要ではないか 2. 町の再生可能エネルギー施策の進展は (1) 3年前一般質問後公共施設の再エネ施設等は増設されたか (2) 大規模災害時の地域内電源確保は 3. 地域おこし協力隊の「大幅増員」による地域活性化施策 (1) 地域おこし協力隊を増員する意向はないのか (2) 地域コミュニティとの関わりは (3) 住む場所の確保について (4) 協力隊の中高年層の採用について	町 長